

## 令和4年度 京友会国際賞の選考結果

温氏の論文は、日本放送協会が1931年から1941年にかけて放送した中国語語学番組「支那語講座」の研究に取り組んだものであり、目で読むという漢文の訓読法を意識しながら、耳で聞く中国語の音声性が戦時中にもった意味を考察している。日中両国の相互理解の促進という研究の関心を活かし、語学学習の視点とメディア研究の方法を挑戦的に融合しており、国際賞にふさわしいと判断する。

馮氏の論文は、少女から成人女性への移行を考察し、彼女たちの実践が、学校教育で奪われた「女性性の回復」と、成人女性に押し付けられる規範的な女性に対する「創造的な越境」の交差点にあることを緻密な分析を通じて明らかにしている。中国社会における、少女から成人女性をとりまくジェンダー秩序に光を当てた試みは、蓄積が少ない研究領域において大変貴重なものであり、今後の研究の発展が大いに期待される。

藍氏の論文は、「教師の姿が見えることが学習成果に影響を与えるのは、教師の姿が学習すべきことに直接関係している場合に限られる」という仮説を検証しており、卒業論文とはいえ非常に質が高く、現在の重要な話題であるオンライン教育の実践に重要な示唆を与えている。また、母語でない英語で書かれ、大きな国際会議で発表することも評価できる。

以上のように、三本の論文をいずれも受賞に値する素晴らしい論文であると判断し、受賞対象とした。三人の研究生活が世界に向けてますます発展されることを期待したい。

2023年5月26日 審査委員 小林哲郎・石井英真

氏名	学年	論文題目
オン シュウエイ チュウゴク 温 秋穎 (中国)	D3	「日本放送協会「支那語講座」のメディア史 (1931-1941) : 他者の言語はいかに想像されたか」
ヒョウ カキン チュウゴク 馮 可欣 (中国)	D1	ロリータを着て「少女」になる 一少女期の追体験と女性性の回復の交差点にある中国の ロリータファッション文化ー
ラン イツ タイワン 藍 予智 (台湾)	M1	The Effects of Instructor Presence in a Multimedia Language Learning Setting (マルチメディア言語学習におけるインストラクターの 存在の効果について)